

韓国の総合日本語教材¹⁾における 「前置き表現」の研究

高 恵 善 *

(e-mail : love3377@hotmail.com)

目 次

1. はじめに
 2. 研究方法
 3. 分析および結果
 4. 終わりに
-

1. はじめに

韓国語母語話者日本語学習者は日本語母語話者と話す際、伝達しようとする用件の文法的な正しさに考慮するあまり、かえって相手に失礼な感じを与えることも多い。そもそも韓国語にも挨拶や前置きは存在している。それにも関わらず、韓国語母語話者日本語学習者にとって、日本語の婉曲表現の一つとしての「前置き表現」を適切に使うことが難しいのはなぜだろうか。

韓国の中高等教育課程は2000年度から、文化相互理解や意思疎通を教育の目的とする第7次教育課程が導入されている。その中で、日本語教育の狙いは以下のようなものである。

* 早稲田大学大学院日本語教育研究科 教材教具研究 修士修了(教育学修士)。

1) 吉岡英幸(2008) 『徹底ガイド日本語教材』によれば、「教材」の種類を5つに整理している。その中で「教育内容によるもの」とは「読解教材・聴解教材・漢字教材・会話教材・作文教材・発音教材・総合教材」と分類している。そこで「総合教材」は「総合型教材」とも言い、「文字」「発音」「語彙」「文法」などの言語要素や、「読み」「書き」「話し」「聞く」という4技能を総合的にバランスよく習得することを前提として作成された教材を指すと述べている。

「言語の4技能を有機的に関連付け、場面と状況による相互コミュニケーション行為の達成を可能とし、それに対する評価は、偏った知識よりも、円滑な意思疎通に役立つ言語行動文化や日常生活文化を中心とする。」²⁾

さらに、中等教育用以外の日本語教材が毎年数多く編集・出版されており、2000年から2008年までの教材の数だけでもはや150冊以上に上る。そこで本稿では、教師と学習者が接する機会が最も多い教材を調べることにする。その対象となる教材は、4技能が学習できる総合教材、なお、中等用日本語教材(19冊)と成人用日本語教材(45冊)の初級総合日本語教材(64冊)とする。これら教材における「前置き表現」の使用実態を調査・分析し、その問題点を明らかにする。また適切な「前置き表現」の改善案を提案する。

2. 研究方法

2.1 目的

韓国の総合日本語教材の「前置き表現」を分析し、教材に掲載されている「前置き表現」の使用実態とその問題点を明らかにする。

2.2 対象教材の特徴および目的

表1)と表2)は、分析対象教材における特徴や目的である。

表1)対象教材および特徴

対象教材	特徴
中等教育用日本語教材	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 第7次教育課程の教科書 (ただし、外国語専門教育を提供し、外国語の才能がある人材育成が目的である外国語系教育課程の教科書は除外する。) ▪ 教師が教室などで使用することを前提に作成されたものであるが、教師は指導のために作成された指導書を使用しており、学習者の自習のためには別途の自習書が作成されている。なお、「中等教育用教科書」の特徴は教師の指導および学習者の自学自習が可能なことである。

2) 教育人的資源府『日本語教育課程解説書』引用(筆者訳)。

<p>一般成人用日本語教材</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 第7次教育課程が最初に導入された2000年度から2008年度のものとする。(ただし、同一出版社の教材で、題名のみ更新され、内容が初版年度2000年以前と同じ場合、それらの教材は除外する。) ▪ 学習対象者が「一般成人」³⁾である。 ▪ 特徴：学習者が一人で自学自習できるように作成されたものである。⁴⁾
-------------------	---

分析は、「中等教育用日本語教材」と「一般成人用日本語教材」を分けて行う。それらの分析結果により、各々教材の「前置き表現」使用の相違点が見られる。

表2)対象教材の目的

<p>中学校生活日本語 (教育府)</p>	<p>言語表現のみを習得するのではなく、文化の理解も同時に達成する事を目的として作成されている。様々な日本文化の体験を通して日本文化の特徴を理解し、日常生活で用いられている基礎的な日本語能力を向上させることに重点が置かれている。</p>
<p>高校日本語Ⅰ・Ⅱ (日本語教育課程解説書) 教育人的資源府</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聴解学習活動に、能動的に参加する態度を育成する。 2. やさしい日本語を、日本語母語話者が分かるように話す。 3. 「話す」活動に、積極的に参与する態度を育成する。 4. 読解学習に、自ら努力する態度を養う。やさしく、簡単な日本語が書ける。 5. インターネットを通して、日本語による、情報検索の基礎的な方法を理解し、情報検索に興味を持つ。 6. 日本文化を理解し、日本との国際交流に積極的に参与する態度を育成する。
<p>一般成人用日本語教材 (目的がほとんど同じであるため、筆者は以下のように一つにまとめることにする。)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 独学できる。 2. 中途半端で終わらないように、分かりやすく、楽しく学習できる。 3. 日本語母語話者の使用実態に最も近く、自然な日本語表現を記載することで、日本語母語話者との相互コミュニケーション能力を高める。

3) 吉岡 (2008) 『徹底ガイド日本語教材』によれば、年少者向きではなく、学習対象者を特に明記していない教材が「一般成人」として分類されている。

4) 吉岡英幸(2008) 『徹底ガイド日本語教材』凡人社参照

	4. 日本語の基礎文法をマスターできる。 5. 日本語の基礎会話を完璧にマスターできる。 6. 日本文化と日本の事情が分かる。
--	---

2.3 分析方法

表3)対象教材の「各課の構成」における「会話」

対象教材	「各課の構成」における「会話」
『中学生生活日本語（こんにちは）』（1冊）	「絵で見る会話場面／役割練習」
『高校日本語Ⅰ・Ⅱ』（18冊）	「話してみましょう／ダイアログ／話し活動／スピーキング／コミュニケーション活動／言ってみましょう」
「一般成人用日本語教材」（45冊）	「本文／～会話／会話文／会話練習／生々トーク／日本語で話してみましょう／ダイアログ」

表3)は、対象教材の「各課の構成」で「会話」が記載されているところを明示したものである。これら対象教材の「会話」を中心とし、すべての「前置き表現」を取り上げ、表現行為ごとに分類する。表現行為ごとに分類した「前置き表現」は、表4)の定義を基準にして、分析を行う。また、「用例」は「場」と「人間関係」により、設定される「場面」を分かりやすくするため、発話者の「用件⁶⁾」が言及されるところまで、記入する。

3. 分析および結果

3.1 「前置き表現」機能の定義

表4)の「前置き表現」機能の定義に基づき、本稿の教材分析を行う。

表4)各表現行為における「前置き表現」機能

依頼表現	「前置き表現」機能
行為	・呼びかけ ・事情説明 ・謝罪型表現 ⁷⁾ ・和らげ効果
指示	・呼びかけ ・事情説明 ・謝罪型表現 ・和らげ効果
誘い	・呼びかけ ・話題提示 ・事情説明 ・都合尋ね ・好み尋ね ・和らげ効果

5) 蒲谷他 (1998) 『敬語表現』や蒲谷 (2007) 『大人の敬語コミュニケーション』参照。

6) 表現行為をいう。

誘いの断り	・ 詫び表現	・ 話題提示	・ 事情説明	・ 和らげ効果
許可求め	・ 呼びかけ	・ 事情説明	・ 謝罪型表現	・ 和らげ効果
許可与えない	・ 呼びかけ	・ 事情説明	・ 謝罪型表現	・ 和らげ効果

- (1) 呼びかけ：「名前」「職名」「ねえ(ねえ)」などの「呼びかけ」表現で、相手の注意を引く機能を果たす。
- (2) 詫び表明：「ごめん(なさい) / すまない(が) ・ すみません(が) / 申し訳ない(が・けど) ・ 申し訳ありません(が・けど) / 悪いけど / ごめんください / 失礼です(が) / あいにく / 残念(ですが) / せっかく」などの謝罪の定型的な表現で、人に謝る、詫びる機能を果たす。だが、ここで「誘いの断り表現」以外の表現行為では、人間関係と状況により、「詫び表明」機能、「和らげ効果」機能、そして「呼びかけ」機能も果たしているため、「謝罪型表現」と名付ける。
- (3) 和らげ効果：「あの」「ちょっと」などを用いて、表現をより和らげる機能を果たす。【「あの」・「ちょっと」】は「呼びかけ」機能として働く場合もあるが、本稿では「和らげ効果」と捉える。
- (4) 話題提示：「もう2時ですね。」「今度の日曜日ですか。」などの表現で、「情報与え」「情報求め」「用件の確認」などの表現で、用件を切り出す機能を果たす。
- (5) 事情説明：「実はあしたパーティーがあるんですが。」「ほんがかいたいんですが」などの表現で、状況や理由などの表現で、事情を説明する機能を果たす。
- (6) 都合尋ね：「時間ある?」「明日、暇?」などの表現で、都合を尋ねる機能を果たす。
- (7) 好み尋ね：「～の映画好きですか?」などの表現で、相手の好みを尋ねる機能を果たす。

3.2 中等教育用日本語教材の「前置き表現」の分析 (付録参照)

3.3 一般成人用日本語教材の「前置き表現」の分析 (付録参照)

3.4 分析結果における考察

7) 「謝罪型表現」とは、「ごめん(なさい)」「すまない(が) / すみません(が)」「申し訳ない(が・けど) / 申し訳ありません(が・けど)」などのお詫びの定型的な表現形式を称する。それらは、「詫び」「和らげ効果」「呼びかけ」の機能を持っている特徴があり、コミュニケーション主体の判断により、それぞれ異なる意識で用いられている。そこで本稿では「誘いの断り表現」以外の表現行為は「謝罪型表現」と名付け、謝る気持ちで用いられる「詫び表現」機能の用語と重複しないようにした。

表5)各表現行為および「前置き表現」の使用頻度

表現	依頼		指示		誘い		誘いの断り		許可求め		許可 与えない	
	T	I	T	I	T	I	T	I	T	I	T	I
H	25	18	5	5	39	51	21	15	16	7	2	10
M	19	16	4	5	11	39	20	7	7	6	0	5
%	76.0	88.9	80.0	100.0	28.2	76.5	95.2	46.7	43.8	85.7	0.0	50.0

★「H」：各表現行為の使用頻度数 / 「M」：「前置き表現」の使用頻度数
「T」：中等教育用日本語教材での使用頻度数 / 「I」：一般成人用日本語教材での使用頻度数⁸⁾

表5)は、分析対象の教材（「T」と「I」）で会話に記載されている各表現行為の使用頻度と、各表現行為の使用頻度数（「H」）における前置き表現の使用頻度数（「M」）を表したものである。また、表5)をグラフ化したのが[図1)及び図2)]である。

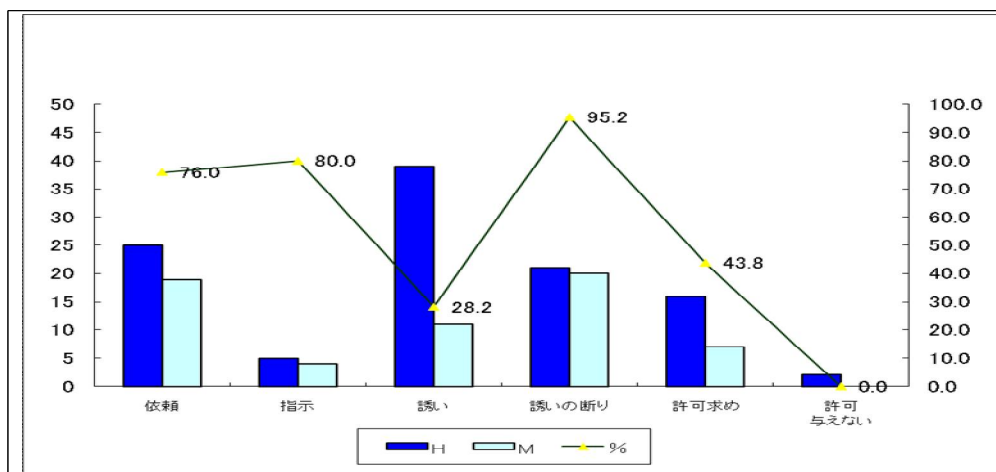


図1)中等教育用日本語教材

図1)は「T」での各表現行為における使用頻度を示す。「誘い→依頼→誘いの断り→許可求め→指示→許可与えない」の順であり、「前置き表現」の使用率は「誘いの断り→指示→依頼→許可求め→誘い→許可与えない」の順で、頻度数が最も高い「誘い」の表現行為では「前置き表現」の使用率が28.2%と最も低かった。

8) 以降、各表現行為の使用頻度は「H」、前置き表現の使用頻度は「M」、中等教育用日本語教材は「T」、一般成人用日本語教材は「I」と表記する。

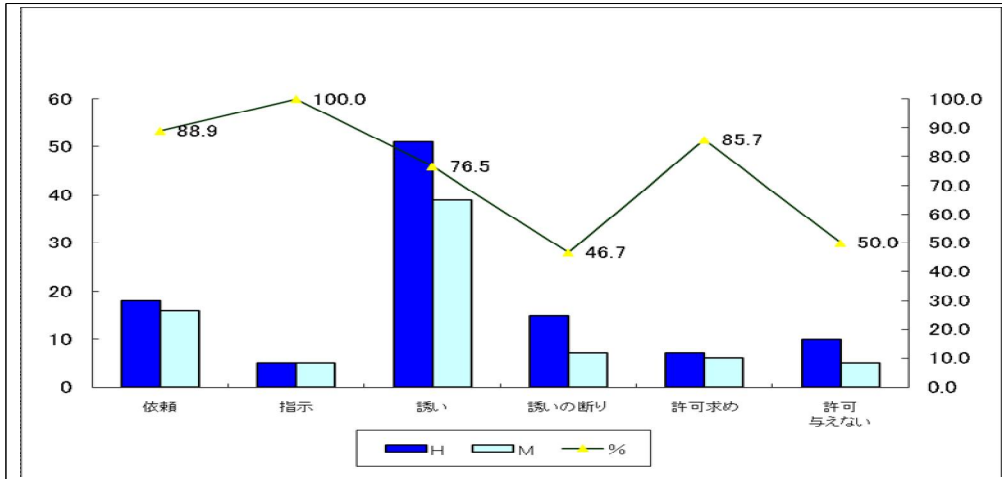


図2)一般成人用日本語教材

図1)に対して、図2)の場合、「I」では、「H」は「誘い→依頼→誘いの断り→許可与えない→許可求め→指示」の順であり、「前置き表現」の使用率は「指示→許可求め→依頼→誘い→許可与えない→誘いの断り」の順であった。頻度数が最も高い「誘い」の表現行為では「前置き表現」の使用率も高かったが、図1)で「前置き表現」の使用率が最も高かった「誘いの断り」の表現行為では「前置き表現」の使用率は50%を下回った。

表6)教材における「前置き表現」の機能⁹⁾

機能	依頼		指示		誘い		誘いの断り		許可求め		許可を与えない		
	T	I	T	I	T	I	T	I	T	I	T	I	
呼びかけ	⑥			⑮	⑮	⑮	①		②	③	×	①	
和らげ効果	⑮	③		②		⑥	⑫	②	③	③	×	①	
詫び表明							⑩	①			×		
謝罪型表現	⑧	⑩	④	③					③	②	×	④	
事情説明	⑤	⑦		①	⑧	②	⑭	⑤	①	①	×	③	
話題提示	②	③					⑩	③	①		②	×	①
都合尋ね	①			①	④	⑳	①		①	①	×		
好み尋ね						②					×		

※ 太字で斜体の表記は、最も多い頻度を表す。

9) 本稿での「談話の単位」は南 (1993) が『談話の研究と教育 I』pp91-112で述べている「談話の単位」の一つである「言語的コミュニケーション機能」とする。(第2章参照)

以下は、表6)をまとめたものである。

- ① 「依頼」表現行為
「前置き表現」の使用頻度は「T」と「I」、どちらも高い結果であるが、「T」では「和らげ効果」機能が、「I」では「謝罪型表現」機能が多く用いられている。
- ② 「指示」表現行為
「前置き表現」の使用頻度は「T」と「I」、どちらも高い結果であるが、「T」では「謝罪型表現」機能が、「I」では「呼びかけ」機能が多く用いられている。
- ③ 「誘い」表現行為
「前置き表現」の使用頻度は「T」では28.2%、「I」では76.5%の使用率で、異なる結果である。また「T」では「呼びかけ」機能が、「I」では「都合尋ね」機能が最も多く用いられており、「I」では「呼びかけ」機能の使用も少なくない。しかし、「I」との相違は、「T」では「都合尋ね」機能の使用が顕著に少ないことである。
- ④ 「誘いの断り」表現行為
「前置き表現」の使用頻度は「T」では95.2%、「I」では46.7%の使用率で、異なる結果であるが、「前置き表現」機能は「T」と「I」、どちらも「事情説明」機能が多く用いられている。
- ⑤ 「許可求め」表現行為
「前置き表現」の使用頻度は「T」では43.8%、「I」では85.7%の使用率で、異なる結果であるが、「前置き表現」機能は「T」と「I」、どちらも「和らげ効果」機能、「呼びかけ」機能、そして「謝罪型表現」機能が普遍的に用いられている。
- ⑥ 「許可を与えない」表現行為
「I」にのみ記載されており、「前置き表現」の使用頻度は50%である。そこで用いられている「前置き表現」機能は「謝罪型表現」機能が最も多く、次に「事情説明」機能も用いられている。

4. 終わりに

本稿では、韓国の総合日本語教材における「前置き表現」の使用実態を調べた。その結果、教材の問題点は次の4点である。

4.1 問題点

- (1)各表現行為における「場」および「人間関係」の不明

教材では場面【「場」＋「人間関係」】が明確に設定されていない用例が多く見ら

れた。いくつかの教材では、「1課」に入る前に登場人物を紹介していたが、いずれも登場人物の「名前」「職業」「母国」「地位」「家族構成」などであり、登場人物の人間関係は紹介されていなかった。さらに、各課で登場する人物に一貫性がなく、最初に紹介されていなかった人物がいきなり登場してくる場面も多く見られた。また、会話の参加者が【「A」と「B」】で表記され、人間関係が不明の会話が多く見られた。したがって、学習者は「場」と「人間関係」を意識せずに習得し、そのまま使用している可能性もあり得る。

(2)日本語母語話者の意識と一致していない「前置き表現」機能の使用

韓国の教材では、日本語母語話者による使用頻度の高い「前置き表現」機能より、使用頻度の低い「前置き表現」機能のほうが多く用いられている傾向にあった。たとえば、「依頼」表現行為では、日本語母語話者の場合は、用件の内容により、【「和らげ効果」・「謝罪型表現」・「都合尋ね」】機能が使用されていた。それに比べて、対象教材では【「和らげ効果」・「謝罪型表現」】は多く使われていたが、「都合尋ね」機能は一箇所も見えなかった。

(3)「誘いの断り」表現行為の場合は、日本語母語話者は相手レベルに関わらず、【「詫び表明」と「事情説明」】機能の「前置き表現」を使う傾向にあったが、対象教材では「事情説明」機能の「前置き表現」の使用頻度が最も高かった。さらに、「一般成人用日本語教材」では、「誘い」表現行為の場合は「前置き表現」の使用頻度が高い傾向にあったが、「誘いの断り」表現行為では46.7%の使用率で、実態としては、【「ダメです。」「行けません。」】などの「前置き表現」のない直接的な表現が多く見られた。

(4)あまり適切ではない場面の設定

「一般成人用日本語教材」(46冊)のほとんどで中後期に「前置き表現」を用いる表現行為が見られたが、『遊びながら日本語習い』「第3課」では、次のような例が用いられている。

- 例1) パク：しつれいですが、おしごとはなんですか。
- たなか：きょうしです。
- パク：なんのせんせいですか。
- たなか：にほんご (のきょうし) です。パクさんのおしごとは(?)。
- パク：わたしはがくせいです。

「例1）」は、この箇所だけを見ると、さほど問題はないように思われるが、この「場」は「初対面の場」であり、「人間関係」は「初対面」である。このような場面では、「しつれいですが」という「謝罪型表現」機能の「前置き表現」は用いられているものの、初対面での場面で唐突に「おしごとはなんですか。」という表現は、文脈にもよるが、時と場合によっては相手に不快感を与える可能性があるため、このような個人的な質問は差し控えるのが一般的であろう。そういう意味で、「例1）」のように「前置き表現」が用いられていたとしても、初対面での場面の用例としては不適切であると考えられる。また、『プラプラ日本語初歩』第14課では次のような例が記載されている。

例2) 10)(山口先生がボンスさんのところへ来ています。)

ボンス：先生、こちらにかけて、一服しませんか。

先生：こら！ボンス！ここは禁煙だぞ！

この会話では「先生・学生」という人間関係が設定されているが、イラストにある先生の姿は非常に高齢で、しかも「親・疎」の関係は表明されていない。すなわち親しい関係であっても、年長の先生に学生が誘う場面としてはなんらかの工夫が必要であり、いきなりこのような表現を発するのは適切とはいえないのではないだろうか。

4.2 提案

以上の考察から、対象教材における問題点は、「前置き表現」についての認識不足から生じているのではないかと、また、教材の用例は、使用実態もしくは研究の結果によるとはいえ、教材編集者の主観的判断に依拠しているのではないかと考えられる。そこで筆者は、より適切な「前置き表現」の習得に向けて、教材編集に考慮すべきこととして、次の5つを提案したい。

(1) 場面（「場」＋「人間関係」）への提案

「前置き表現」は場面（「場」＋「人間関係」）によって変化するという調査結果により、登場人物の紹介と同時に「上・下」「親・疎」関係の設定も明確にする。また、「どこで、どんな状況で」行う表現行為であるかが明確にされれば、場面（「場」＋「人間関係」）に合う適切な「前置き表現」の学習効果がさらに高まると考えられるので、場面（「場」＋「人間関係」）の設定を明確にすることが望ましい。

(2) 「前置き表現」機能の教材への提示

10) 本稿では「前置き表現」以外の表現形式上の問題点は捉えないことにする。

「前置き表現」機能の提示には、学習者が置かれる状況や文法的・心理的要素を考慮すべきである。すなわち、初級教材の最初は「初対面」で、挨拶や自己紹介が行われ、中期に進むにつれて親しい関係になるのが一般的である。そこで、親しくない「人間関係」、あるいは公的な「人間関係」による表現行為の「前置き表現」を前半に提示し、次第に親しい「人間関係」による表現行為の「前置き表現」を提示する。ただし、前期には多様な語彙や長文の習得は難しいので、用件の「当然性」の度合いが高い用例の提示を提案する。

(3) 談話レベルによる会話の用例への提案

文レベルのみでは、「前置き表現」の効果的な学習は望めない。各々異なっている場面（「場」＋「人間関係」）により構築される、談話レベルの運用を求めることで、場面（「場」＋「人間関係」）に合わない「前置き表現」の使用を防ぐことができ、円滑なコミュニケーション環境を作ることができるだろう。そうした意味においても談話レベルの用例を増やし、さまざまな実態場面に対応できるようにする。

また談話レベルの用例は、使用実態や研究結果によるものを反映し、より自然な状況の会話の用例が望ましい。

(4) 提出順序への提案

初級前期から「前置き表現」機能について明示する。

「前置き表現」についての言及は初級前期からとする。初級中期からは、「前置き表現」機能を増やした用例を取り扱う。「前置き表現」機能のうち「和らげ効果」機能と「謝罪型表現」機能は初級の段階でも簡単に習得できる表現であると思われるので、より早い段階で多様な場面と一緒に提示することが望ましい。

【分析対象教材】

	中等教育用日本語教材	発行年	著者名	出版社
1	中学生生活日本語 (こんにちは)	2001	教育府	教育府
2	高校生日本語1 (12冊)	2002	安秉坤·尹岡丘·崔鎔赫·鄭永旻(안병곤·윤강구·최용혁·정영민)	成案堂
3		2002	李淑子(이숙자)·김선영·安秉俊(안병준)·이태영·최인홍·미노와요시쓰구	民衆書林
4		2002	梁淳惠(양순혜)·이원복·위혜숙·李香眞(이향진)	(株)天才教育
5		2002	金孝子·朴才煥·鄭龍起(김효자·박재환·정용기)	知学社
6		2002	韓美卿·趙誠範(한미경·조성범)·李瑛媛(이영환)·津崎浩一	(株)Black Box
7		2002	趙南星(조남성)·北直美	(株)学文出版
8		2002	柳庸圭·金祐淵(유용규·김우연)·후쓰카이치 소	(株)教学社
9		2002	張南珊·김우열·崔英淑	(株)YBMS isa
10		2002	金淑子·魚基龍·李暎洙·사이토아사코	(株)大韓教科書
11		2002	李鳳姬·김남익	(株)教学社
12		2002	李賢起·李漢燮·韓中瑄	(株)進明出版社
13		2002	柳吉東·趙文熙·가이자와도시·여선구	(株)進明出版社
14	高校生日本語2 (6冊)	2003	韓美卿·趙誠範(한미경·조성범)·李瑛媛(이영환)·津崎浩一	(株)Black Box
15		2003	梁淳惠(양순혜)·이원복·위혜숙·李香眞(이향진)	(株)天才教育
16		2003	金淑子·魚基龍·李暎洙·사이토아사코	(株)大韓教科書
17		2003	柳吉東·趙文熙·가이자와도시·여선구	(株)進明出版社
18		2003	金孝子·朴才煥·鄭龍起(김효자·박재환·정용기)	知学社
19		2003	李鳳姬·김남익	(株)教学社

	一般成人用日本語教材	発行年	著者名	出版社
1	New Top Japanese (1&2)	2003.05	S i s a 日本語社編集部	S i s a 日本語社
2	超基礎日本語	2004.01	キムチャンギョル	ジョンウン
3	New Top 日本語初歩 (入門)	2004.01	バクジョンヒ・ソンミヘ	S i s a 日本語社
4	スタート日本語	2004.01	水谷信子	ドラックウォン
5	私の初日本語	2004.04	ヨシ (吉)	ゾウングル
6	e-やさしい日本語 (入門)	2004.11	東京外大日本語研究会	S i s a 日本語社
7	最初から始める日本語初歩	2005.01	ソンサンヨップ	ジェイル語学
8	ネックサス独学日本語	2005.01	ジョンソンヨソ	ネックサスジャパニーズ
9	日本語初歩	2005.03	キムインシユク	ディジス
10	初級日本語 (1)	2005.03	チェヨン・ナコンス・キムヤンソン・イヌイ ヒロシ	ヨナンン大学校出版部
11	Newスタート日本語 Step1	2005.03	水谷信子 (ミズタニノブコ)	ドラックウォン
12	日本語初歩	2005.04	イスギル	セロンブックス
13	イジースタート日本語1	2005.06	新日本語教育研究会	サランin
14	イジースタート日本語2	2005.06	新日本語教育研究会	サランin
15	日本語と勝負	2005.08	ネックサスジャパニーズ教材開発チーム	ネックサスジャパニーズ
16	日本語初歩	2005.09	ソンサンヨップ	ジェイル語学
17	大好き 日本語1	2005.12	ムンソンヒ・中山辰成 (キムジンシヨン)	ドンヤンムンゴ
18	日本語はじめてですか?	2005.12	ハンジョンファ	国際語学研究所
19	最初にはじめる日本語	2005.12	ユンソンギヨン	ネックサスジャパニーズ
20	NEW CONCEPT JAPANESE (新概念日本語)	2006.01	キムヒソン・田淵咲子 (タブチ サクコ)・稲熊美保 (イナグマ ミホ)・ファンキョンザ	S i s a 日本語社
21	大好き 日本語2	2006.01	ムンソンヒ・中山辰成 (キムジンシヨン)	ドンヤンムンゴ
22	ゼロから始める速成日本語	2006.01	チュエンソック・ミ代純平 (ミヨ ジュンペイ)・ヨテヨソップ	S i s a 日本語社
23	1人で学ぶ日本語初歩	2006.03	ジョンボキヨン	ドラックウォン
24	大好き 日本語3	2006.03	ムンソンヒ・中山辰成 (キムジンシヨン)	ドンヤンムンゴ
25	ダイナミック日本語 Step2	2006.03	オヒョンジョン・蓮池いずみ (ハスイケ イズミ)・バクヘンザ・相澤由佳 (アイザワ ユカ)・バクジュンヒョ	ドラックウォン
26	ブラブラ日本語初歩	2006.05	キムキョンヒ・アイウエオクラブ	ネックサスジャパニーズ
27	すくすく日本語初歩	2006.05	バゴダ言語教育研究所	ウイト&ウィズダム
28	すくすく日本語初級	2006.06	バゴダ言語教育研究所	ウイト&ウィズダム
29	グッドモニング独学日本語初歩	2006.09	カンソックキ	ドンヤンムンゴ
30	ゴールデンウィーク日本語1人で終えよう	2006.12	日本語勉強技術研究所	ラングージブラス
31	遊びながら日本語習い	2007.01	バクヘンソン	Y B M S i s a
32	日本語初歩教科書 (DUGODUGO見る)	2007.02	オフアジョン	リブリアン
33	イジー日本語初歩	2007.02	バクジヒョン	S i s a 日本語社
34	ネックサス独学日本語 (ウルトラ初級)	2007.04	チュエンジュン	ネックサスジャパニーズ
35	みんなの独学日本語勉強入門	2007.05	チョスジン他	S i s a 日本語社
36	みんなの独学日本語勉強初級	2007.05	チョスジン他	S i s a 日本語社
37	日本語初歩破格秘法	2007.06	イサンビョ	S i s a 日本語社
38	NEW日本語追い付き	2007.11	国際語学研究所 日本語学部	国際語学研究所
39	おもしろいキムヨンジン日本語	2008.01	キムヨンジン	ソナンダン
40	日本語初歩 New New	2008.01	カンソックキ	シ&トク
41	日本語初歩	2008.01	キムジョンウン・イトキョウウ	ジンミョン出版社
42	独学日本語初歩	2008.02	ファンヨチヤン	ドラックウォン
43	一冊で日本語初歩から中級まではつきり終えよう	2008.03	ジャンジョンホ	ササヨソ
44	日本語初歩	2008.03	オヒョンスック	サンジ社
45	独学日本語初歩	2008.08	バクジヒョン	Y B M 日本語

【参考文献】

- 伊藤恵美子 (2006) 「日本人は断り表現において丁寧さをどう判断しているかー長さと適切性からの分析ー」 『異文化コミュニケーション研究』第18号 pp.145-160
- 柏崎秀子 (1993) 「話しかけ行動の談話分析ー依頼・要求表現の実際を中心にー」 『日本語教育』79号pp.53-63
- _____ (1995) 「談話レベルで捉える丁寧さー談話展開が丁寧度評定に与える影響ー」 『日本文化研究所紀要』1号、亜細亜大学日本文化研究所 pp.178-192
- 南不二男 (1983) 「談話の単位」 『日本語教育指導参考書 談話の研究と教育 I』 国立国語研究所,pp.91-112
- 頼 美麗 (2006) 「依頼における「当然性」と「謝罪型表現」の使用について」 『待遇コミュニケーション研究』4号 早稲田大学待遇コミュニケーション研究会 pp.64-78

【参考書籍】

- 蒲谷 宏 (2007) 『大人の敬語コミュニケーション』ちくま新書
- 蒲谷宏/川口義一/坂本恵(1998) 『敬語表現』大修館書店
- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵・清ルミ・内海美也子 (2006) 『敬語表現教育の方法』大修館書店
- 佐久間まゆみ(2003) 『朝倉日本語講座7「文章・談話」』朝倉書店
- 佐久間まゆみ/杉戸清樹/半沢幹一 (1997) 『文章・談話のしくみ』おうふう
- 吉岡英幸 (2008) 『徹底ガイド日本語教材』凡人社

【付録】

●中等教育用教材の「前置き表現」の用例・機能・場・人間関係

※ (「…」) は相手の反応を、「()」は前置き表現における用語の略語を示す。

表現行為 11)	用例	機能	場	人間関係
依頼	① みなさん(呼)、ちょっと(和) てつだってもらえませんか(用)。	呼+和	教室	先生→学生
	② ジョンス君(呼)、これをちょっと(和) 手伝ってくれませんか。(用)	呼+和	教室	先生→学生
	③ なかたさん(呼)、これ重いから(事) ちょっと(和)手伝ってくれませんか。(用)	呼+事+和	会社	不明
	④ なかたくん(呼)、これ重いから(事) ちょっと(和)手伝ってくれる?	呼+事+和	会社	不明
	⑤ 今度の月曜日、会議があるんですが、(事)来てくださいますか。(用)	事	不明	不明
	⑥ すみません。(謝)「…」はさみがな いんですが、(事)ちょっと(和)貸してもら えませんか。(用)	謝	不明	不明
	⑦ キムさん、(呼)この手紙、読んでくれ ませんか。「…」わたしはまだ日本語が 下手ですから、直してもらいたいで す。	呼	不明	クラスメート
	⑧ あのう、(和)このくつ、もう少しやす いのはありませんか。	和	店	お客→店員
	⑨ すみません。(謝) タクシーのりばに行 くにはどう行ったらいいですか。	謝	道	通行人
	⑩ あの、(和)すみませんが、(謝) このちかくにコンビニはありませんか。	和+謝	道	通行人
	⑪ あのう、(和)すみません。(謝) このえんぴつはいくらですか。	和+謝	店	お客→店員
	⑫ あのう、(和)すみません。(謝) 「…」洋服室はどこですか。	和+謝	店	お客→店員
	⑬ あの、(和)すみませんが、(謝) トイレはどこですか。	和+謝	店	お客→店員
	⑭ あのう、(和)ちょっと、(和)すみま せん。(謝) 図書館はどう行ったらいい ですか	和+謝	道	通行人
	⑮ 田中さん、(呼)この服をせたくし たいんですが、(事)これは何という 意味ですか。	呼+事	洗濯室	不明
	⑯ あのう、(和)明日のスケジュールの ことで聞きたいことがあるんだけど。 (事)「…」出発の時間は8時だった よね。	和+事	事務室	学生→事務 員
	⑰ あのう、(和)ちょっと(和)よろしい	和+都	不明	不明

		でしょうか。(都)「…」あさっての面談のことなのですが、(話)時間は午後3時からでしたか。			
	⑱	あの、(和)すみません。(謝)ええと、コーラをお願いしますか。	和+謝	機内	お客→スチュワーデス
	⑲	先生、(呼)ちょっと(和)おうかがいしたいんですが。(事)「…」日本の友だちのためにキムチを作りたいんですが。	呼+和+事	不明	学生→先生
指示	①	すみません。(謝)コピーのとり方を教えてください。	謝	図書館	不明
	②	すみません。(謝)コーラをください。	謝	ファーストフード店	お客→店員
	③	すみません。(謝)ハンバーガーをみつけてください。	謝	ファーストフード店	お客→店員
	④	すみません。(謝)あの雑誌をとってください。	謝	図書館	不明
誘い	①	ここはけしきがきれいですから、(事)写真をとってみませんか。	事	不明	不明
	②	キョンボクンに行きたいんですが、(事)いっしょに行きませんか。	事	電話	友達
	③	実はあしたパーティーがあるんですが。(事)「…」いっしょに行きませんか。	事	不明	不明
	④	やっとしけんがおわった。(話)ところで、今日はどうする?(都)「…」えいがでも見に行かない?	話+都	不明	不明
	⑤	昼ごはんはどうする?(都)とんカツを食べようか。	都	不明	不明
	⑥	たなかさん、(呼)あのえいがをみましたか。(都)「…」じゃあ、いっしょに見に行きませんか。	呼+都	不明	不明
	⑦	あやちゃん、(呼)あのえいが見た?(都)「…」じゃ、いっしょに見に行かない?	呼+都	不明	不明
	⑧	今度の土曜日、シャツ買いに行くけど、(事)いっしょに行かない?	事	不明	不明
	⑨	ほんがかいたいんですが、(事)いっしょにほんやへいきませんか。	事	不明	不明

	⑩	明日ぼくの誕生日ですけど、(事) パーティーに来られますか。	事	不明	不明
	⑪	今度の日曜日、また山登りに行こうと 思ってるんだけど、(事) いっしょに行 きませんか。	事	不明	不明
誘いの断 り	①	でも、おべんとうを持ってきたんだ。 (事)	事	会社	不明
	②	来週の火曜日は都合が悪いんです。 (事)	事	不明	不明
	③	写真はちょっと(和)...	和	不明	不明
	④	ごめん。(詫) 土曜日は都合が悪い の。(事)	詫+事	不明	不明
	⑤	ごめんね。(詫) 今日はちょっと (和) ...	詫+和	不明	不明
	⑥	すみません。(詫) ざんねんですが、 (詫) 今度の土曜日はちょっと... (和)。	詫+和	不明	不明
	⑦	すみません。(詫) あいにく(詫) 約 束があって。(事)	詫+事	不明	不明
	⑧	日曜日はちょっと(和) 約束がありま す。(事)	和+事	不明	不明
	⑨	え.. ぼくはちょっと。(和) 買いもの に行くつもりです。(事)	和+事	不明	v
	⑩	すみません、(詫) 約束があるんです が。(事)	和+事		
	⑪	あいにく(詫) ほかの約束があるんで す。(事)	和+事	不明	不明
	⑫	とりたいですが、人が多くてちょっと。 (和)	話+和	不明	不明
	⑬	すみません。(詫) 日曜日はつごうが わるいんです。(事)	詫+事	電話	友達
	⑭	すみません。(詫) これから宿題をし なければなりません。(事)	詫+事	不明	不明
	⑮	すみません。(詫) 試験があって、 勉強しなければなりません。(事)	詫+事	不明	不明
	⑯	1日ですか。(話) 1日はちょっと (和) ...。「...」姉の結婚式に行か なければなりません。	話+和	不明	不明
	⑰	ごめん。(詫) 今、ちょうど私の好き なアニメが始まったところだから、 (事) これを見てからにするわ。	詫+事	不明	不明
	⑱	ごめんなさい。(詫) 今、ちょうど私	詫+事	不明	不明

		の好きなアニメが始まったところですから、(事) これを見てからにします。			
	⑱	今度の日曜日ですか。(話) せっかくですが、(詫) 今度の日曜日はちょっと(和) 買い物に行こうと思っていますので。(事)	話+詫	不明	不明
	⑳	あの、(和) よう子さん、(呼) ちよつと(和) いいですか。(都) 「…」あのう、土曜日のパーティーのことなんです。来週の月曜日からテストがあるので、ちよつと…。	和+呼	不明	不明
許可求め	①	すみません、(謝) ざつしを借りてもいいですか。	謝	図書館	借り手→図書館員
	②	鈴木さん、(呼) この本ちよつと(和) 見てもいいですか。	呼+和	不明	不明
	③	あのう、(和) ちよつと(和) よろしいでしょうか。	和	不明	不明
	④	ちよつと(和) 本を借りてもいいですか。	和	図書館	借り手→図書館員
	⑤	すみません。(謝) このコンピューターを使っていいですか。	謝	図書館	不明
	⑥	すみません。(謝) きょう、病院へ行かなければなりません。(事) はやく帰ってもいいですか。	謝+事	教務室	学生→先生
	⑦	ゆうや君、(呼) ちよつといい?(都) 「…」日曜日の映画のことなんですけど、(話) 時間を変えてもいいかな。「…」うん、ちよつと学校へ行かなくちゃならないんだ。	呼+都	不明	不明
許可を与えない		なし			

●一般成人用日本語教材の「前置き表現」の用例および機能・場・人間関係

※ (「…」) は相手の反応を、「()」は前置き表現における用語の略語を示す。

表現行為 12)	用例	機能	場	人間関係
依頼	① すみません、(謝)何か書くものを貸してく	謝	事務室	不明

11) 蒲谷他 (1998) 『敬語表現』や蒲谷 (2007) 『大人の敬語コミュニケーション』の定義を用いる。

	れませんか。			
②	すみませんが、(謝)ボールペンを貸して くださいませんか。	謝	研究室	学生 → 先生
③	友達が温泉に行きたいらしいんです が、(話)どこかいい所を教えてください ませんか。	話	不明	不明 (男 → 女)
④	田中さんは今電話中です。(事)少し まってくださいませんか。	事	会社ロ ビー	受付 → パク
⑤	すみません。(謝)忘れました。(事) あしたまで待ってくださいませんか。	謝 + 事	研究室	学生 → 先生
⑥	ひらがなは書けますが、漢字はまだ読 むことも書くこともできません。(事)少し 漢字を教えてくださいませんか。	事	不明	不明
⑦	「…」財布がないんです。(事) 「…」たぶん、会社のロッカーの中だ と思うんですが…。(事)あの、すみ ませんが、(謝)お金を貸していただけま せんか。	「…」 + 事 + 「…」 + 事 + 和 + 謝	タクシ 乗り場	会社の同 僚
⑧	あの、(和)この書類を明日までに 教務課に提出しなければならないんです。 (事)でも、漢字がよくわからないので、 困ります。(事)手伝ってもら えませんか。	和 + 事	不明	不明
⑨	すみません。(謝)この2さつ、かりたい のですが、(事)かりてもいいですか。	謝 + 事	図書館	借り手 → 図 書館員
⑩	夏休みに中国へ行くつもりです。 (話)「…」田中さんは夏休みにどこ か行きますか。(都)「…」じゃあ、1 つお願いしてもいいですか。(都) 「…」日本に行ったらカメラを買って来 てもらえますか。	話	不明	不明
⑪	しつれいですが、(和)おしごとはなん ですか。	謝	初対面の 場	初対面
⑫	すみません、(謝)この近くに銀行が ありますか。	謝	道	通行人
⑬	すみません。(謝)中華街に行きたい んですが、(事)どこで降りればいい ですか。	謝 + 事	道	通行人
⑭	あの、(和)すみません。(謝)ダイ スキ日本語学校はどこですか。	和 + 謝	道	通行人

	⑮	あそこの窓が開いていますね。(話) 「…」 ええ、ちょっと寒いんですが…。	話	お部屋	不明 (女、男)
	⑯	すみません。(謝) 「…」 郵便局はどこですか。	謝	道	通行人
指示	①	木村さん、(呼) ちょっと(和) 手伝ってください。	呼+和	オフィスで	同僚
	②	すみませんが、(謝) ちょっと(和) 使い方を教えてください。	謝+和	銀行	お客→銀行員
	③	近いうちに李さんに会いますか。 (都) 「…」 それじゃ、この本を渡してください。	都	不明	不明
	④	いま100えんだまがありません。(事) すみませんが、(謝)かしてください。	事+謝	運動場 (体育時間)	不明
	⑤	ごめんください。(和) 古田です。 「…」 この問題がよくわかりません。 (事) 教えてください。	謝	不明	不明
誘い	①	もう2時ですね。(話) 何か食べませんか。	話	道	不明
	②	もう2時ですね。(話) 何か食べましょうか。	話	不明	不明
	③	もう12時ですよ。(話) 昼ごはんを食べに行きませんか。	話	会社	同僚
	④	ええ。ちょっと(和)ビールでも飲みませんか。	和	道	不明 (IMC部長→ブラジルエア社員)
	⑤	あのう、(和)高橋さん、(呼) カラオケに行きませんか。	和+呼	不明	不明 (会社員)
	⑥	あーお腹ペコペコ! (話) ナレちゃん何か食べに行く?	話	公園	友達 (ホームステイのお姉さん→中学生の韓国人)
	⑦	明日、時間、ありますか。(都) 「…」 一緒に映画でも見ませんか。	都	不明	友達 (ホームステイ)
	⑧	佐藤さん、(呼) あした暇ですか。	呼+都	電話	不明

	(都) 「…」それじゃ、家へ遊びに来ません。			(主婦→学生)
⑨	もう韓国料理を食べましたか。(都) 「…」日曜日、一緒に食べに行きませんか。	都	不明	不明
⑩	明日は日曜日ですよ。(話) 「…」どこかへ行きませんか。	話	不明	不明 日本人男 学生、会 社 員 (女)
⑪	ソンさん、(呼)日曜日になにか予定 はありますか。(都)「…」じゃ、一 緒に歌舞伎を見に行きませんか。	呼+都	不明	不明
⑫	今度の日曜日、どうですか。(都) いっしょにボウリングでもしませんか。	都	道	不明 (会 社 員)
⑬	来月、5日間連休がありますね。 (話)どうですか。(都)どこか遊び に行きませんか。	話+都	不明	不明
⑭	ソンさん、(呼)おいしいところを知っ ているんですが。(話)一緒にお昼を 食べに行きませんか。	呼+話	不明	不明
⑮	青井さん、(呼)映画のチケットが二 枚あるんですが、(事)行きますか。	呼+事	道	不明(英 語の先生 →会 社 員)
⑯	あのう、(和)いっしょに映画でもどうで すか。	和	食堂	不明(留 学生、日 本人大学 生)
⑰	佐藤さん、(呼)あした暇ですか。 (都)「…」それじゃ、家へ遊びに来 ませんか。	呼+都	電話	不明(主 婦、学生 (男))
⑱	ホンさん、(呼)ちょっとじかんがありま すから、(事)うみまでさんぽにいきま せんか	呼+事	鎌倉(旅 行)	不明
⑲	金さん、(呼)明日何か約束でもあり ますか。(都)「…」金さんは日本の 映画を見たことがありますか。(都) 「…」じゃ、明日映画を見に行きませ	呼+都	不明	不明 (日本人 女、韓国 人男)

	か。			
㉑	明日休みなのですが、(話)何を するつもりですか。(都)「…」じゃ、 明日ぼくの家でビデオでも見ませんか。	話+都	不明	不明 (日本人 女、韓国 人男)
㉒	野口君、(呼)あした暇なの。 (都)「…」実はきのう友達から映画 の切符を三枚もらったけど、(事)いっ しょに行かない。	呼+都	不明	不明
㉓	あの、(和)今度の日曜日、時間 がありますか。(都)「…」じつは、 映画のチケットが2枚ありますが、 (事)一緒に行きませんか。	和+都	電話	不明(会 社員男、 大学生 女)
㉔	里美さん、(呼)今度の土曜日は何 か予定がありますか。(都)「…」 実は土曜日に山田さんと海へ遊びに行く 予定なのですが、(事)里美さんも一 緒に行きませんか。	呼+都	不明	友達
㉕	お酒が飲めますか。(都)「…」ど んなお酒なら飲めますか。(好) 「…」じゃ、今度飲みに行きましょう。…	都	不明	不明
㉖	パクさん、(呼)もう昼ごはんを食べま したか。(都)「…」そうですか。 私もまだですから、一緒に食べません か。	呼+都	不明	不明 (会 社 員)
㉗	ミラーさん。(呼)「…」あした友達と お花見をします。(話)ミラーさんもいっ しょに行きませんか。	呼	会社	同僚
㉘	今度の日曜日、ひま?(都)「…」 じゃ、一緒に映画見る?	都	不明	不明
㉙	中村さん、(呼)明日は久しぶりに映 画でも見ましょう。	呼	会社	同僚
㉚	パクさん、(呼)土曜日はいつも何を しますか。(都)「…」そうですか。 今週は映画を見に行きませんか。	呼+都	不明	不明 (会 社 員)
㉛	イタリア料理が好きですか。(好) 「…」じゃ、日曜日いっしょに食べま せんか。	好	不明	不明
㉜	コンサートのチケットをもらいました。 (事)いっしょに行きませんか。…	事	不明	不明

	②	あのう、(和) 木村さん、(呼) 小沢征爾 (おざわせいじ) のコンサート、いっしょにいかがですか。	和+呼	電話	不明 (会社員 (男) アナウンサー (女))
	③	相撲 (が) 好き? (好) 「…」チケット (が) あるけど、(事) いっしょに行かない?	好	不明	不明
	④	夏休みは国へ帰るの? (都) 「…」タワポン君、富士山に登ったことある? (都) 「…」よかったら、(都) いっしょに行かない?...	都	不明	友達
	⑤	すぐ帰りますか。(都) 時間があつたら、(都) お茶でも飲んで帰りませんか。	都+都+用	不明	不明
	⑥	…実は、私たちも箱根に行こうと思ってるんです。(話) よかったら (都) 車で一緒に行きませんか。	話+都	公園	不明 (女 → 男)
	⑦	今度の週末に横浜へ行こうと思います。(話) 「…」私たちの池部さんに行くつもりです。もし、時間があればいっしょに行きましょう。	話	不明	不明
	⑧	今週の土曜日、ひまですか。(都) 「…」うちの会社は週休2日制だから、土曜日は休み。それで友だちと映画を見るつもりです。一緒に見に行きませんか。	都	不明	不明
	⑨	日曜日はちょっと(和) 「…」会社のお客さんを迎えに、空港に行く予定です。(事)	和	道	不明 (会社員)
誘いの断り	①	土曜日はちょっと(和) 「…」約束があります。(事)	和	不明	不明 (日本大学生 → 留学生)
	②	ごめん。(詫) 会社に行かなければならないの。(事)	詫+事	コーヒーショップ	不明
	③	すいません。(詫) 約束があります。(事) 日本から友達が来る予定です。(事)	詫+事	不明	不明
	④	すみません。(詫) 来週の土曜日は仕事がありますから。(事)	詫+事	不明	不明

	⑤	金曜日ですか。(話) 金曜日の晩はちょっと(和)…。 「…」 ええ、友達と約束がありますから、…。	話+和	電話	不明(会社員(男)アナウンサー(女))
	⑥	実は今ダイエットをしています。(事)	事	不明	不明
	⑦	あしたは約束があるけど。…(事)	事	不明	不明
許可求め	①	山口さん、(呼) これ、ちょっと(和) 借りてもいいですか。	呼+和	山口の家	会社の同僚
	②	すみません。(謝) ちょっと(和) この本、借りてもいいですか。	謝+和	韓国語の学校	学生→事務の人
	③	昨日、寝る前に窓を閉め忘れまして。(話) ゴホッ、ゴホッ。「…」 それで今日病院に行きます。(事) 仕事を早く終わってもいいですか。	話	会社	部下→課長
	④	田中さん、(呼) 本をたくさん持っていますね。(話) この小説ももう読みましたか。(都) 「…」 じゃ、1週間借りてもいいですか。	呼+話+都	不明	不明
	⑤	あの、(和) 先生。(呼) 少しご相談したいことがあるんですが(事)…。 「…」 明日研究室に伺ってもよろしいですか。	和+呼+事	電話	学生→先生
	⑥	すみませんが、(謝) タバコを吸ってもいいですか。…	謝	不明	不明
許可を与えない	①	すみませんが、(謝) 今は熱くなっているんで、(事) 使ってははいけません。	謝+事	山口の家	会社の同僚
	②	たばこですか。(話) それはちょっと(和)…。 あ、ムンさん、空き缶はここに捨てないでください。	話+和	ホテルロビー	不明
	③	すみません。(謝) ここは道路ですから(事) 止めてはいけません。	謝+事	道路病院	警察医者→患者
	④	李さん、(呼) お酒は飲まないでください。	呼	医者	患者
	⑤	お客様。(呼) すみませんが、(謝) ここは禁煙席なので、(事) あちらのお席どうぞ。	呼+謝+事	ホテルコーヒーショップ	ウエイトレス、お客

要 旨

本論では、韓国で編集・出版された総合日本語教材の中で、初版年度2000年1月から2008年12月までの「中等教育用日本語教材」(19冊)と「一般成人用日本語教材」(45冊)を対象として取り上げ、それらに記載されている「前置き表現」について分析を行った。また、各教材に掲載されている「前置き表現」の使用実態とその問題点を明らかにし、教材への提案を行った。

教材の問題点は次の4点である。

- ①表現行為における「場」および「人間関係」の不明。
- ②日本語母語話者の意識と一致していない「前置き表現」機能の使用。
- ③あまり適切ではない場面の設定。
- ④対象教材に記載されている「前置き表現」は全般的に後期部分。

そこで、筆者はこれら教材について、日本語母語話者の言語習慣に考慮した適切な「前置き表現」習得のための教材改善案として、次の4点を提示した。

- ①場面（「場」＋「人間関係」）への提案⇒教材に登場する登場人物の紹介と同時に、人間関係を明確に設定する。
- ②「前置き表現」機能の教材への提示
- ③談話レベルによる会話の用例への提案
- ④提出順序への提案⇒初級前期から「前置き表現」を用いて、「前置き表現」機能について明示する。

キーワード：「前置き表現」機能、総合日本語教材、表現行為、謝罪型表現、和らげ効果、事情説明、詫び表明、呼びかけ、都合尋ね、好み尋ね

투 고 : 2009. 11. 30
1차 심사 : 2009. 12. 12
2차 심사 : 2010. 01. 09